

地域密着型金融推進計画

平成24年度「地域密着型金融推進計画」の取組みの状況

当金庫は、経営理念に添った「地域密着型金融推進計画」を通じて、活力ある地域社会の実現を目指し、地域における企業支援・金融の円滑化等の推進を図ることとしております。

平成24年度も重点項目を策定し、地域密着型金融に向け取組み、機能強化を図ってまいりました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資や中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
4. 会員への機能向上等に向けた取組み
5. 地域環境への貢献

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援機能等の強化を図る。
・地元福島大学との産学官連携協力を推し進めましたが、実績には至りませんでした。今後も産学官連携の拠点である「地域創造支援センター」の積極的活用に取り組みます。
取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化を図る。
・主要取引先24社を支援企業としてリストアップし、企業の特性や課題・問題点分析を通じて経営改善支援強化を行い、ランクアップおよびランクダウン阻止を図りました。
・中小企業支援ネットワーク強化事業として専門家を7社に派遣し企業体質改善に努めました。
・税理士との連携により、1社において課題・問題点・具体的改善策の共有化を図りました。

2. 事業価値を見極める融資や中小企業に適した資金供給手法の徹底

企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み
・外部団体が主催する「事業再生支援」「目利き力養成」関連の研修へ、本部主管部及び営業店融資担当者を積極的に派遣し、人材の育成・スキルの蓄積に取り組んでいます。（「目利き養成」部門では、4名派遣）

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

若手経営者・後継者を対象とした「経営支援セミナー」を3回開催しました。
相談業務に対応するため、全店午後5時まで営業時間を延長し、延べ185件のご相談をお受けしました。
年金相談会を13回開催し、116人のご相談をお受けしました。
金色支店にて「サンデー相談会」を開催し、延べ89件のご相談をお受けしました。（お盆、年末年始、3連休時を除く）
「まつしん地域活性化ワーキンググループ」では、各種団体から要望や提案を聞き取り、グループで討議を重ねてきました。具体策として「共同掲示板」「パンフレット・スタンド」を設置し、約48店舗からお申し入れがあり商店街との共同キャンペーンとして「商店街応援キャンペーン」を行い186店舗（平成25年2月時）にご参加いただきました。
ビジネスマッチングの推進を図るため各種ビジネスマッチングフェアへの出展を支援いたしました。
（ビジネスマッチ東北2012秋 3社、ビジネスマッチ東北ハンズオン支援事業 3社、城南信用金庫「日本を明るく元気にする“よい仕事おこし”フェア 3社）
販路拡大のため信用金庫業界を中心としたカタログ掲載や懸賞品への商品紹介
（販路応援通販サイト”しんきんの絆”への商品登録 5社、上田信用金庫懸賞金付定期預金懸賞品として採用 1社）

4. 会員への機能向上等に向けた取組み

「ディスクロージャー誌」「半期ディスクロージャー誌」の公表・活用を実施いたしました。
地区別総代懇談会を全地区実施し、当金庫の情報開示を「ご意見・要望」をお伺いいたしました。
会員からの意見・要望について「第8回アンケート」を実施しました。

5. 地域環境への貢献

地域活性化に繋がる多様なサービスの提供
・環境保全の展開に役立てるためエコ定期積金の販売（平成25年2月～25年3月）を行い、その契約額の0.01%相当を公益財団法人 ふくしまフォレスト・エコ・ライフ、社会福祉法人 あだち福祉会に寄付することをに取り組みました。
寄付金については、自然関係の図書等の購入や緑化保全に有効に活用されています。
地域の中で環境問題への取組みとして、ISO14001活動を継続し、また地球温暖化防止のための「福島議定書」へ参加するなど、環境保全に努めました。